

# 新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会

## 議事要旨

### <目次>

第1回	新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会	議事要旨.....	2
第2回	新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会	議事要旨.....	6
第3回	新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会	議事要旨.....	10
第4回	新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会	議事要旨.....	16
第5回	新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会	議事要旨.....	18

注1：審査における公平性確保の観点から、応募グループの実名称は伏せて審査をしました。本議事要旨における青、白、緑グループと実際の応募グループの名称の対応は以下のとおりです。

青グループ：新秩父宮 STTTAR グループ

白グループ：新秩父宮ラグビー場（仮称）事業推進グループ

緑グループ：Scrum for 新秩父宮

注2：第4回有識者等委員会において、提案内容に関するヒアリングを実施しましたが、提案者固有のノウハウが多く含まれている為、ヒアリングの内容及び質疑応答については省略しています。

注3：提案者固有のノウハウ保護の観点から、本議事要旨に関するご質問にはお答えできませんのでご了承ください。

## 第1回 新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会 議事要旨

1. 日時：令和3年9月14日（火）10：00～12：00

2. 場所：JSC本部事務所 大会議室

3. 議題：議事1 有識者委員会について  
議事2 事業の概要について  
議事3 事業の手続きスケジュールについて  
議事4 実施に関する方針について  
議事5 その他

4. 出席者：秋山委員、秋吉委員、伊香賀委員、深尾委員、前田委員、間野委員、  
山内委員

5. 議事要旨

開会挨拶、理事挨拶、資料確認、各委員の紹介の後、委員長の互選を行い、  
山内委員が委員長に就任した。

（1）議事1 有識者委員会について

○ 事務局から、委員会の設置趣旨や設置根拠、議事運営について説明を行った。

（2）議事2 事業の概要について

○ 委員より、資料2-2の5「施設の概要」の主な性能（全天候型のスタジアムや人工芝等）について、提案者の裁量はあるものと考えてよいか、という質問に対して、事務局から、芝については、天然芝ではなく人工芝とすることを要求水準書で規定しており、屋根については、民間事業者の技術提案等に基づいて様々な提案が可能な要件としている、と回答した。

（3）議事3 事業の手続きスケジュールについて

○ 委員より、ラグビー場解体時に使用不可となる期間が発生することに対して問題はないか、との質問に対して、事務局から、令和8年度から9年度にかけて現ラグビー場の解体がある期間は使用不可となるが、ラグビー協会等と情報交換を行っており、了承を得ていると回答した。

- 委員より、PFI の提案項目として、2028 年 4 月頃の建設工事の竣工を少し早める提案がされた場合は、それも評価すると考えてよいか、との質問に対して、日本ラグビーフットボール協会はラグビー場を使用できない期間が極力短くなるよう要望しているため、工期の短縮に関しても評価基準に入れることを考えており、次回有識者委員会で選定基準の内容を確認頂くことを予定している、と事務局から回答した。
- 委員より、質問回答のスケジュールについて確認があり、事務局から、質問回答は 3～4 回程度（第 1 回は参加表明に関する質問回答、第 2・3 回は、技術提案書に関する質問回答）を設けることを考えている、と回答した。
- 委員より、質問に対する回答を委員会にかけると必要はないのか、という質問に対し、事務局から、事前に委員の方々に確認いただいた方が良い内容があった場合は、メールもしくは持ち回りで確認いただくことを想定している、と回答した。

#### （4）議事 4 実施に関する方針について

- 事務局から、実施方針の概要（資料 4－1）、業務要求水準書（案）の概要（資料 4－2）について説明を行った。
- 委員より、ラグビーの定義は障がい者や女子ラグビー等も含める必要があるのではないかと、という質問に対して、事務局から、プロジェクトの経緯としては、現在の秩父宮ラグビー場が老朽化し、これを建て替えなければいけないということであり、本事業においても、現在のラグビー場で行われているラグビーを想定している、と回答した。
- 委員より、大規模災害に備えて広域避難場所として想定しているか、との質問に対して、事務局から、現在広域避難場所と指定されてはいないが、イベント時やスポーツ利用時の帰宅困難者が滞在できるような防災備蓄倉庫機能を設けることを行政と協議しており、また、有事の際の維持管理協定についても管轄自治体と協議の上提携していくことになる、と回答した。
- 委員より、フィールドの寸法について、提案者の提案余地があっても良いのではないかと、という質問に対して、事務局から、フィールドの寸法については、周辺区域の範囲を調整した結果の寸法となっているが、委員の意見を伺った上で今後検討したい、と回答した。

- 委員長より、多様性に関して事業者側に配慮を求めること、あるいは、審査の基準として多様性に関する内容を検討することが必要、との発言があった。
- 委員より、要求水準書の基本方針で、施設整備における基本的な理念として挙げられている様々な政策課題（SDGs・ユニバーサルデザイン等）への対応・貢献では、まず、カーボンニュートラルといった環境保全性に関する重要なキーワードを宣言し、その上で、最低水準のみを記載する要求水準書とするのではなく、事業者が競争し、より良い提案を期待できるような、前向きな要求水準書にしてほしい、という意見があった。その意見に対し、事務局から、最低水準以上の提案を求めることと、その提案に対する評価を高くすることを明示することによって、前向きな要求水準書とすることを考えている、と回答した。
- 委員より、人工芝を前提としていることについて、天然芝も可能にする技術提案の余地を設けるべきではないか、という意見に対して、日本ラグビーフットボール協会等と協議し、ラグビーだけでなく、コンサート等の多様な利用方法も含めて様々な観点で検討した結果、人工芝を前提としている、と事務局から回答した。その事務局の発言に対し、委員長より、技術的な観点も踏まえて検討し、ラグビー協会と調整いただきたい、との発言があった。
- 委員より、建築デザインについて、近接する国立競技場との関係性を踏まえた上で、要求水準書の記載内容と事業者選定基準を検討する必要がある、という意見に対して、事務局から、外観デザインに関する理念的な内容は要求水準書で記載しているが、事業者選定基準等の中で外観デザインをどのように扱っていくかについて、委員に相談したいと考えている、と回答した。
- 委員より、新秩父宮ラグビー場の建設予定地で地中障害等が発生しても事業を開始できる条件は整うのか、との質問に対して、事務局から、地中障害や土壌汚染があった場合の取扱いについては再開発の地権者と JSC の間で既に約定している、と回答した。
- 委員より、現秩父宮ラグビー場で普段平日の昼間はどのような人が使用しているのか、との質問に対して、事務局から現秩父宮ラグビー場は、年に1回の花火大会等を除いて、ラグビー専用スタジアムとして利用されている、と回答した。
- 委員より、ラグビー場、博物館やミュージアムについて、健常者だけでなく、様々

な利用者に対応できるよう検討してほしい、との発言があった。

- 委員より、新秩父宮ラグビー場の外観デザインに関する、要求水準書の記載内容と事業者選定基準は、新秩父宮ラグビー場の周辺建物との調和性や、建築がこの場所でどのようにあるべきか、といった観点が非常に評価されることが事業者に伝わるようにしてほしい、との発言があった。
- 委員より、現秩父宮ラグビー場の敷地に明治神宮が球場を建設した際、敷地面積が増えた部分の所有権は明治神宮に移転するのか、また、その所有権移転に伴う権利変換額の流れについて教えてほしい、という質問に対し、事務局から、再開発事業の権利変換により敷地の所有権は明治神宮に移転し、その権利相当を JSC が取得することとなる、と回答した。

#### (5) 議事5 その他

- 事務局から、事業者選定基準について説明を行った。
- 委員より、採点のプロセスや結果についての情報はどこまで開示するのかという質問に対して、事務局から、個人の採点結果ではなく委員の平均値を公表することで現状は考えているが、方向性について改めて整理する、と回答した。
- 委員より、専門分野でないため評価し難い点について、評価人数から除外する考え方の他に、同じ点数をつける方法も考えられるため、情報開示への影響も踏まえた上で、方向性を検討する必要があるという意見に対して、事務局から、内部でも検討し、第2回有識者委員会の事前に相談したい、と回答した。
- 委員より、優れた提案であるが評価基準上評価できない提案が出てくる場合も考慮し、提案方法を検討してほしい、という意見に対し、委員長より事務局に対し、委員がどこまで評価できるかを考慮した上で検討してほしい、との発言があった。
- 事務局から委員に対して議事録の公開方法および次回の委員会について、事務連絡を行った。

以上

## 第2回 新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会 議事要旨

1. 日時：令和3年11月30日（火）14：00～16：00

2. 場所：JSC本部事務所 大会議室

3. 議題：議事1 実施方針に係る質問・回答について（報告）

議事2 特定事業を選定することについて

議事3 事業者選定基準について

議事4 今後のスケジュールについて

議事5 その他

4. 出席者：秋山委員、秋吉委員、伊香賀委員、永田委員、深尾委員、前田委員、  
間野委員、山内委員長

5. 議事要旨

（1）議事1 実施方針に係る質問・回答について（報告）

○ 事務局から、新秩父宮ラグビー場（仮称）整備・運営等事業 実施方針等に関する質問回答の概要（資料1）について説明を行った。

○ 参考資料「実施方針等に関する質問回答及び意見」の意見について、質問回答とは別で事業に影響がありそうなものはあったか、との質問に対して、事務局から、意見として受付していたものの多くが、質問と重複する内容であったため、特段事業に大きく影響がある意見はない、と回答した。

（2）議事2 特定事業を選定することについて

○ 事務局から、特定事業「新秩父宮ラグビー場（仮称）整備・運営等事業」の選定について（資料2）について説明を行った。

○ 委員より、バリュー・フォー・マネーについて、他事例と比較した大小を教えてほしい、との質問に対して、事務局から、本事業のバリュー・フォー・マネー2.9%は標準的な値と考えている、と回答した。

○ 委員長より、資料2の審議事項に対する異論の有無を問うた。各委員から異論がなく、委員長から、本事業を特定事業として選定する方向で進めることとする、と

発言した。

(3) 議事3 事業者選定基準について

- 事務局から、新秩父宮ラグビー場（仮称）整備・運営等事業 事業者選定基準 加  
点評価項目構成・評価基準・加点評価のポイント（案）（資料3）について説明を  
行った。
  
- 委員長より、評価基準を決めるために点数配別のシミュレーションは行ってい  
るか、との質問に対して、事務局から、シミュレーション結果について説明を行っ  
た。
  
- 委員より、資料3の右端の加点評価のポイント例について、カッコ書きの部分は  
非公表でよいか、との質問に対して、事務局から、右端は公表資料には記載してい  
ないので非公表と考えている、と回答した。
  
- 委員より、B-5-1でBEI値や創エネルギーについて、評価の区分を応募者には見せ  
ない状態で提案してもらうのか、との質問に対して、事務局から、記載上の留意事  
項では、数値目標としてBEI値そのものや、創エネルギーの数値を、具体的に数  
字で応募者に記載いただくことを考えており、応募者が記入した数字をもとに、  
自動的に右側の区分で評価することを考えている、と回答した。
  
- 委員より、事業者の審査項目ごとの配点を読み解く能力を審査する、という考え  
方がよいのではないか、との発言があった。その発言に対し、委員長から、小項目  
の点数を出すよりも、それを応募者に推定させると委員としても評価がしやすい  
ので、小項目の配点については記載しないという方向でよいのではないか、と発  
言した。
  
- 委員より、要求水準書に、適正工期や無理のない工期設定について、何か記載はさ  
れているか、との質問に対して、事務局から、供用開始を前倒しできるような具体  
的な計画を求めることと、無理な工期短縮を提案してもらうのではなく、施工合  
理化や生産性の向上について提案してもらい、その2つをセットで評価基準とす  
ると考えていること。また、建設期間だけではなく設計・施工・開業準備に関して  
提案いただくことで、開業準備を早めに開始することで引き渡しから開業までの  
期間を短縮することや、設計期間中に事前に調査を進め設計と工事の間の期間を  
極力短くするなどの提案が考えられること、を回答した。

- 委員より、ダンピングが生じた際は、どのような運用となるのか、との質問に対して、事務局から、JSC の会計規程で低入札調価格調査制度というものがあるが、他の PFI 事業の事例においても、PFI 事業は低入札価格調査制度の対象としていないケースが多く、今回もその対象とすることは現時点で想定していない、と回答した。
- 委員より、B-6-2 の記載上の留意要領の「極力前倒し」の「極力」を「無理な工期設定にならない範囲で」のような表現にすればよいのではないかと、との質問に対して、事務局から、そのような形で修正させていただく、と回答した。
- 委員長より、事務局は、価格評価点と技術評価点の割合を 100 点对 400 点とし、5 段階で ABCDE をつける評価方法とすることを提案しており、有識者委員会としてそれを決定することになるが、委員の方々はよいか、との発言があった。その発言に対し、委員から、5 段階で採点する方法が望ましい、との発言があった。その発言を受けて、委員長から、評価方法は、5 段階評価とさせていただく、との発言があった。
- 委員より、点数のつけ方について、単純集計方式での平均値をとる方法や、一番高い点数と低い点数を除いて平均値をとる方法や、仮採点をし、専門の先生の意見を聞いた上で、最終的に点をつけ直す方法等が考えられる、との発言に対して、事務局から、現時点の案としては、各委員に仮評価して頂いた後、有識者委員会で専門の委員がどのような考えで評価したのか意見をいただき、議論を踏まえて各委員が適宜評価を修正いただくこと、点数は各委員の評価の平均値をとることを考えている、と回答した。別の委員からは、専門分野が各委員で異なるため、一番高い点数と低い点数を除く方法はやめるべきである、との発言があった。
- 委員長より、今回は 5 段階の平均点とし、専門家の委員の意見を聞いた後、各委員が自分の採点を変更する機会を設ける方式とする、との発言があった。

#### (4) 議事 4 今後のスケジュールについて

- 事務局から、新秩父宮ラグビー場（仮称）整備・運営等事業 手続きスケジュール（案）（資料 4）について説明を行った。
- 委員長より、競争的対話は行わないのか、との質問に対して、事務局から、実施し

ない方向で考えている、と回答した。

- 委員長より、第4回有識者委員会でヒアリングをした際、その場で各委員が自分の採点を見直すことはしないのか、との質問に対して、事務局から、ヒアリング後に再度議論いただくことを考えている、と回答した。
- 委員長より、第5回有識者委員会は、評価の講評内容を議論するのか、との質問に対して、事務局から、講評部分の文章について確認いただく、と回答した。
- 委員長より、第4回から第5回の間には事務局で講評の原案をつくるのか、との質問に対して、事務局から、ご認識の通り、と回答した。その事務局の発言に対し、委員長から、最近の傾向では、落札者に対して有識者委員会から様々な要求を出すことがあるが、直接 JSC よりも有識者委員会の方が客観的にいえるのではないかと、との質問に対して、事務局から、通常 JSC においては、委員会の意見を、事務局から、契約した事業者に提示する、と回答した。

#### (5) 議事5 その他

- 事務局から、本有識者委員会に関する情報開示について説明を行った。
- 委員長より、選定に関わらない情報について、開示する方針でよいか、との質問に対して、事務局から、一般的な情報公開法の規定等に基づき、開示可能な情報は開示し、開示不可能な情報は不開示とする、あるいは関係者に確認した上で開示をする規定となっている、と回答した。
- 委員より、審査結果と全体平均点の公表開示について、最高点の応募者が優先交渉者になると理解してよいか、との質問に対して、事務局から、技術評価点と価格評価点を含めた最高点の応募者が落札者となる、と回答した。
- 事務局から委員に対して次回の委員会について、事務連絡を行った。

以上

### 第3回 新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年7月4日（月）14：00～16：00
  2. 場所：JSC本部事務所 大会議室
  3. 議題：議事1 神宮外苑地区市街地再開発事業の状況について（報告）  
議事2 必須審査の概要について（報告）  
議事3 加点審査について  
議事4 応募グループへの質問事項について  
議事5 今後のスケジュールについて  
議事6 その他
  4. 出席者：秋山委員、秋吉委員、伊香賀委員、永田委員、深尾委員、前田委員、  
間野委員、山内委員長
  5. 議事要旨
    - （1）議事1 神宮外苑地区市街地再開発事業の状況について  
○ 事務局から、神宮外苑地区市街地再開発事業の状況について報告を行った。
    - （2）議事2 必須審査の概要について  
○ 事務局から、必須審査の概要について報告を行った。
    - （3）議事3 加点審査について  
○ 事務局から、加点審査について説明の後、委員で討議を行った。委員の発言は以下の通り。
- 【実施体制及びワーク・ライフ・バランス】
- 統括管理業務の実施体制については、青グループと白グループは代表企業から統括管理責任者が出されている点を評価した。施設整備業務の実施体制は、各グループ間で大きな差はなかった。運営業務・維持管理業務の実施体制については、緑グループはスタジアムの運営経験が豊富であるという点を評価した。
- 【事業計画】
- リスク管理については、需要リスクの評価が重要なポイントであるが、白グループ

プと緑グループは需要リスクを的確に把握しているが、青グループは十分ではないと思われる。

- 資金調達計画及び収支計画については、各グループそれぞれに特徴があるが、全体を通して見ると大きな差はない。課税リスクについては、白グループが最も手堅く計算している。

#### 【モニタリング】

- モニタリングについては、PDCAが重要なポイントとなるが、緑グループはしっかりと記載されていた。

#### 【「聖地」秩父宮ラグビー場にふさわしい風格・品格】

- 「聖地」秩父宮ラグビー場にふさわしい風格・品格の醸成に資するための施設整備に対する基本的な考え方について、青グループは敷地や外部空間の取り方において読み取りが最もしっかりしていた。
- 「聖地」秩父宮ラグビー場にふさわしい風格・品格を備えた外観・デザインについて、基本的な考え方を具体的なデザインへと反映させる作業としては、緑グループがしっかりとデザインされており、青グループも建築的には良くできているがあの場所にマッチしているかという点で懸念がある。
- デザインに加えて、30年～50年経過後の汚れの見え方についても評価することが重要であると考え。白グループは、施設外に向かって斜めに壁が出ているため、雨や落ち葉による汚れが懸念される。また、緑グループの木製のキャノピーの上で使用されているガラスに落ち葉が付着することも懸念される。提案者への質問事項として、短期的な掃除と長期的な汚れを防ぐための維持管理について質問し確認をしたい。

#### 【良好な都市景観の形成・賑わいの創出】

- 周辺地域・環境との調和については、3グループとも、しっかりと考えられた提案をしていた。特に緑グループが非常にしっかりした提案をしており、青グループもそれに準じて良くできていた。白グループは建物の南側の広場とその周辺の植栽について提案が不十分であった。
- 周辺地域への賑わいの創出及び敷地特性を踏まえた外構計画・施設配置について

は、青グループは賑わい創出という点で非常に良くできていた。

#### 【競技環境・観戦環境】

- 競技者が競技に集中できる環境の創出については、3グループとも良く計画されており差はないが、緑グループについては、現行の秩父宮ラグビー場を継承した緩い客席勾配を良く表現できていた。
- 競技者が競技に集中できる環境の創出については、青グループが良質な人工芝を使用していることを高く評価した。実際にラグビー競技を行う上で、人工芝の質は重要である。
- 快適で多様な観戦体験やスタジアム内の過ごし方の提供については、席種のバリエーションを増やすことが観客の気分を高め収益の向上にも繋がるが、その点で席種が多様で魅力的であったグループの提案を評価した。

#### 【スタジアムの快適性・機能性】

- スマートスタジアムについては、これからは手元のスマホと同時に大型映像装置で観戦するスタイルが一般化していくと考えられる中で、白グループの大型映像装置は今までに見たことがない規模であり魅力的であった。
- ユニバーサルデザインへの対応について、提案としては一般的な記述が多い青グループ、白グループに対し、より充実した記述がなされている緑グループを評価した。

#### 【各種災害等に対応した高い安全性の確保（合理的な構造計画等）】

- 建物の災害に対する安全性については、どのグループも避難計画を含めてしっかりと検討されているが、青グループの開閉天井については災害時対応が難しくなることが懸念される。

#### 【環境保全について先導的な対応・貢献】

- 環境負荷の低減・創エネルギーに関しては、緑グループは省エネ性能において優れており、大容量太陽光発電システムの導入やLEEDのゴールド認証取得などの記載を高く評価した。
- 木材活用等による脱炭素社会への貢献については、建物のどの部位に木材を使用

しているかなどを確認した上で、総合的に緑グループが良い提案であると評価した。

#### 【設計・施工・工事監理に関する提案】

- 本施設（Ⅰ期）の供用開始時期の計画及び施工合理化等については、各グループで工期がかなり異なる。青グループについては供用開始時期が要求水準よりも1年ほど早いことは評価できるが、なぜ工期を短縮できるのか、労働者の週休二日制の確保など公共工事の条件が満たされているのかといった点について確認が必要であり、その回答次第で評価が決まる。

#### 【大規模修繕費用の縮減】

- 大規模修繕については、事業期間終了直後に大規模修繕が行われない計画の方が、次期事業を円滑に進めることができるため評価することができる。白グループに対しては、大規模修繕工事の実施年度について、その考え方を確認する必要がある。

#### 【利用規則】

- 利用料金については、各グループともそれぞれの良さがあるが、緑グループが障がい者スポーツに力を入れており、一般利用者についても1時間毎の料金と利用しやすい体系としていることを特に評価した。
- 利用調整については、各グループとも利用調整会議を設けているが、特に白グループは利用調整の窓口を設けるという点で調整がより円滑に行われるものと思われる。これに対し、緑グループが1名体制での対応である点に不安がある。

#### 【サービス提供・総合案内】

- サービス提供全般については、キャッシュレス決済やビール販売、スポーツが無い日でも外食サービスを提供するなど、各グループともそれぞれ創意工夫がなされている。
- ホスピタリティサービスについては、今までにないVIPの観戦BOXやラウンジなどかなり細かい点まで記載があり、各グループとも十分に配慮されている。

#### 【広報・情報発信、主催・誘致】

- 広報・情報発信については、SNS以外にも特別な体験をするユニークなイベントな

ど様々な提案がなされていて、各グループともそれぞれに優れている。

- 主催・誘致については、ネーミングライツの金額に差があるものの、スポーツ施設の運営にとって重要である契約に基づく固定収入について、各グループとも十分な検討がなされている。

#### 【ラグビーその他スポーツの振興】

- ラグビーその他スポーツの振興に資する業務については、周辺に様々な企業が所在する施設であるにもかかわらず、各グループの提案とも働き盛り世代へのアプローチが乏しいことから厳しめに評価した。特に、白グループと緑グループはイベントが多く、日常的に継続した取組についてもう少し提案が欲しかった。
- ラグビーその他スポーツの振興への収入額の一部還元については、白グループと緑グループが主としてラグビーを振興するとしているのに対して、青グループはラグビーだけではなくスポーツ全体を振興するとしていることを評価した。

#### 【関係者・関係団体との協力】

- 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（JRFU）との連携協力協定については、青グループには具体的な記載があることを、白グループはリーグワンディビジョン1所属各チームのセカンドホームとして使用していることをそれぞれ評価した。
- 神宮外苑地区における魅力あるまちづくりへの協力については、白グループが相互のイベント開催時に連携して情報発信を行い、混雑対策にも取り組むとしている点を評価した。

#### 【質の高い維持管理の継続的な実現手法】

- 質の高い維持管理の継続的な実現手法については、特に維持管理業務の引継ぎ期間及びフォローアップ期間を長く確保している緑グループの提案を高く評価した。

#### 【効果的・効率的な維持管理手法】

- 効果的・効率的な維持管理手法については、維持管理費に十分な準備金を用意し、手を加えながらしっかり維持管理する提案を評価するという考え方もあるが、多額の維持管理費のかかる建物は使いづらいことから多額の維持管理費がかからない提案を評価するという考え方もある。

(4) 議事4 応募グループへの質問事項について

- 事務局から、応募グループへの質問事項について説明を行い、委員長より各委員に対して修正や追加等がないか確認した。

(5) 議事5 今後のスケジュールについて

- 事務局から、今後のスケジュールについて説明を行った。

(6) 議事6 その他

- 事務局から、本有識者委員会に関連する情報開示について説明を行った。

- 事務局から次回委員会について、事務連絡を行った。

以上

#### 第4回 新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年8月1日（月）13：30～18：00
2. 場所：JSC本部事務所 大会議室
3. 議題：議事1 応募グループへのヒアリング  
議事2 加点審査について  
議事3 その他
4. 出席者：秋山委員、秋吉委員、伊香賀委員、永田委員、深尾委員、前田委員、間野委員、山内委員長
5. 議事要旨
  - (1) 議事1 応募グループへのヒアリング
    - 事務局から、ヒアリングの進め方について説明を行った。
    - (各応募グループのプレゼンテーションおよび質疑内容については省略)
    - (2) 議事2 加点審査について
      - 事務局から、各応募グループへの質問事項と回答（資料1）及び項目別評価コメント一覧（資料2）について説明を行った。
      - 各応募グループのプレゼンテーション・質疑応答を踏まえ、以下討議を行った。
      - 委員より、緑グループの提案内容は、新秩父宮ラグビー場と都内大規模ドームとの運営面のシナジーがあり、高く評価できると思われるとの発言があった。
      - 委員より、2050年までに環境分野における技術革新が進んでいる前提に立ち、竣工までの間にどのような最新技術の導入を行う想定なのかという点は気になり、各応募グループに質問した次第であるとの発言があった。
      - 委員より、青グループは、開閉屋根のメリットを強調しており、開閉コストを安く実施できると述べているが、開閉屋根を採用している施設で実際に稼働できなくなっている事例があることを踏まえると一長一短であるとの発言があった。

**【加点審査に関する審査結果】**

- 各委員において、本日のプレゼンテーション・質疑応答や全体質疑を踏まえ、各応募グループの評価を行い、それを事務局で集計した。集計の結果、各応募グループの加点評価は、青グループ 277.43 点、白グループ 282.62 点、緑グループ 297.62 点となった。本委員会における加点評価の審査結果として、各委員から確認を得た。

**(3) 議事3 その他**

- 事務局から、今後のスケジュール等について事務連絡を行った。
  
- 理事から、閉会の挨拶を行った。

以上

## 第5回 新秩父宮ラグビー場（仮称）整備等事業有識者委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年8月10日（水）～8月18日（木）持ち回り審議

2. 議題：議事1 審査講評について

3. 議事要旨

（1）議事1 審査講評について

（審査講評を取りまとめていただくため、各委員から意見を聴いた。）

- 各委員及び委員長より、記載ぶりや記載方法についての意見があった。
- いただいた意見について委員長に報告し、必要な修正を行った上で、審査講評を取りまとめた。

以上